

保育所の利用定員の設定について

1. 公立保育園の定員変更

当市の公立保育園の内7園は、2歳以上児の定員を遊戯室の面積を基準として定めていたため、定員と比較して個々の保育室がかなり狭い園があること、入所数と比較して定員が過大となっている園があることなどから、今年度、浦佐認定こども園も含めた10の公立保育園の定員を変更しました。

(1) 定員変更にあたっての考え方

2歳未満児の定員は、乳児室またはほふく室面積と国の保育所最低基準面積から求められる定員を超えないようにし、2歳以上児の定員は、可能な限り保育室面積と最低基準面積による定員の100/120以内（適正定員、と仮に言う）としました。

(2) 定員変更の内容

下表のとおり、定員変更を行いました。

また、わかば保育園は新園舎の開園（8月予定）に伴い、今年度の定員を20人増やして50人に、野の百合保育園は園舎増改築工事（平成28年4月に新園舎開園予定）に伴い、今年度の定員を10人増やして100人に変更しました。

保育園名称	変更内容			変更理由等
	変更前	変更後	増減	
浦佐認定こども園	180	200	20人	適正定員に余裕があり、入所率が100%を超えていたため
三用保育園	60	70	10人	
宮保育園	80	90	10人	
上原保育園	120	80	△40人	保育室面積が狭く、2歳以上児の定員を遊戯室面積基準としていたため
五日町保育園	85	80	△5人	
舞子保育園	90	75	△15人	
四十日保育園	90	60	△30人	入所率が低く、2歳以上児の定員を適正定員に近づけるため
西五十沢保育園	75	60	△15人	
塩沢保育園	110	100	△10人	2歳以上児の定員を遊戯室面積基準としていたため
中保育園	105	80	△25人	2歳以上児の定員を適正定員に近づけるため

2. 今後の課題

公立保育園の多くは保育室が狭く、特に、入所率が100%を超え適正定員に近づけることができなかった蕪神保育園、あおば保育園の早急な対応が必要であり、蕪神保育園は、蕪神地区唯一の保育園であることなどから、今年度に増築工事を行い、来年度から定員を10人増やして110人とする計画を進めています。

また、各保育園には経過措置により今年度2号認定を受けた方や、就職活動により入所を認めている方が多くいますので、公立保育園の認定こども園化への検討が必要となります。